

研究主題「自分の思いを実現する経験を積み重ね、

粘り強く取り組むようになる幼児の育成

－自発的な活動としての遊びにおける幼児の試行錯誤を捉えた指導の工夫－」

東京都教職員研修センター研修部授業力向上課

豊島区立西巢鴨幼稚園 主任教諭 川畑 優

第1 研究のねらい

幼稚園教育要領（平成 29 年 3 月告示）には、「幼児期の教育は、生涯にわたる人格形成の基礎を培う重要なもの」であり、「自発的な活動としての遊びは、（中略）重要な学習である」と述べられている。また、幼稚園教育要領解説（平成 30 年 3 月）（以下、「幼稚園教育要領解説」と表記。）には、活動の過程で幼児自身がどれだけ遊び、充実感や満足感を得ているかが重要であると示されている。これらのことから、幼稚園教育においては、遊びを通した指導を中心として、幼児の資質・能力を育むために、幼児の「やってみたい」という思いや、難しいことがあっても、試行錯誤しながら諦めずにやり遂げようという粘り強く取り組もうとする気持ちをもてるようにしていくことが大切であると考えた。

しかし、自身の保育の実践では、思いをもって遊び始めても、難しさを感じて遊びをやめる、諦めるなどの幼児の姿があり、近年の都内公立就学前施設等の研究でも課題として捉えられている。さらに、幼稚園教育要領解説にも示されているように、同時刻に複数の活動が展開する遊びにおいては、教師がある幼児やグループの遊びに関わっていると、他の幼児に適切な指導を行うことが難しいことも課題として挙げられる。

これらのことから、自発的な活動としての遊びにおいて、幼児が試行錯誤する姿に着目し、教師が一人一人の幼児の思いを読み取り、適切な指導を行うための手だてが必要であると考えた。

そこで本研究では、自発的な活動としての遊びにおいて、幼児が試行錯誤しながら自分の思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになることを研究のねらいとし、指導の工夫を探っていくこととした。

第2 研究仮説

自発的な活動としての遊びにおいて、教師が幼児の試行錯誤する姿から思いを読み取り、一人一人に応じた手だてを講じれば、幼児は自分の思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになるだろう。

第3 研究の内容と方法

1 基礎研究

(1) 本研究に関する文言の定義

本研究に関する文言を、幼稚園教育要領解説を参考に定義し、表 1 に示した。

表 1 本研究に関する文言の定義

文言	定義
思い	幼児の対象に関わりたいという意欲のこと。
粘り強さ	自分の思いの実現に向けて、難しいことでも諦めずにやり遂げようとする様子のこと。
試行錯誤	自分の思いを実現しようと繰り返し取り組むこと。

(2) 幼児が思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになる過程の捉え

先行研究等を参考にして、幼児は、試行錯誤しながら自分の思いを実現し、その経験を積み重ねていくことで粘り強く取り組むようになると捉え、その過程を図1に示した。また、幼児が「試行錯誤する際に見られる行動」を整理し、表2に示した。

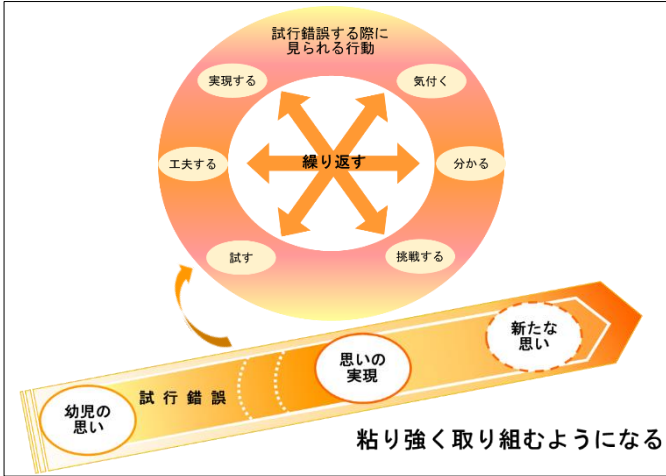


表2 試行錯誤する際に見られる行動

行動	内容
気付く	気に留めていなかったことを意識すること。
分かる	対象の意味や内容を理解すること。
挑戦する	難しいことでもやってみようとする。
試す	いろいろな方法で取り組むこと。
工夫する	うまくいかを考えて取り組むこと。
実現する	やりたいことやめあてを達成すること。

図1 幼児が思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになる過程

2 調査研究

(1) 調査の概要（令和3年7月～9月 都内公立幼稚園）

調査研究を、以下のように行った。（表3）

表3 調査研究の概要

対象	目的	内容と方法
都内公立幼稚園担任教諭5名	自発的な活動としての遊びにおける指導の工夫を把握する。	これまでの指導経験から、幼児の「思い」や「試行錯誤の行動」を、どのように捉えて指導を行っているかなどの聞き取りを行った。
都内公立幼稚園 4歳児、5歳児各3名	試行錯誤の表出状況の記録を基に、実態を把握する。	自発的な活動としての遊びの時間の対象児の行動を観察・記録し、「試行錯誤する際に見られる行動」に基づき整理した。

(2) 調査の結果と分析

ア 自発的な活動としての遊びにおける幼児の行動について

自発的な活動としての遊びにおける幼児の行動は、「試行錯誤する際に見られる行動」に照らして整理できることが分かった。次に示すのは、様々な遊びにおける幼児の行動の例である。（表4）

表4 様々な遊びにおける幼児の行動の例

遊びの場面	幼児の行動	整理した項目
運動遊び	・一本橋で、友達が這い上がる動きを見て、「登ったり、降りたりできるんだ。」と言った。 ・スクーターでカーブを曲がるときに、スクーターから降りて手で押したり、乗って進んだりした。	気付く 試す
ごっこ遊び	・スケートボードごっこで、友達がスケートボードのゴムを解く様子を見て、「こうやって取るんだ。」と言った。 ・スケートボードごっこで、自分で作ったスケートボードに固く結ばれたゴムを解こうと繰り返し取り組んだ。	分かる 挑戦する
感覚遊び	・砂場で、「壊れない団子を作っているの。」と言って、砂と水の量を調節した。 ・砂場で、持ち運んでも壊れない泥団子を作り「やっとなできたの。」と言った。	工夫する 実現する

イ 試行錯誤の表出状況について

対象児が、自発的な活動としての遊びの中で思いをもって取り組む行動を、「試行錯誤する際に見られる行動」で分類した。次に示すのは5歳児A児の例である。（表5）

表5 5歳児A児の試行錯誤の表出状況の記録

	教師が思いを読み取った幼児の行動	気付く	分かる	挑戦する	試す	工夫する	実現する
9/8	友達とバドミントンごっこで勝負をしようとする				✓	✓	
9/16	「スケートボードの選手みたい〜に回転したい」と発言する	✓			✓	✓	✓
9/30	スケートボードのゴムを、繰り返し自分で解こうとする	✓	✓	✓	✓		

以上のように、幼児は「試行錯誤の際に見られる行動」で分類した6種類の行動を、行

「自分の思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになる幼児の育成
―自発的な活動としての遊びにおける幼児の試行錯誤を捉えた指導の工夫―

きつ戻りつしながら試行錯誤し、思いを実現しようとしていることが分かった。

3 開発研究

(1) 『「粘り強さ」を育む幼児理解シート』の開発

様々な自発的な活動としての遊びにおいて、幼児理解に基づいて指導の工夫を見いだす『「粘り強さ」を育む幼児理解シート』（以下、「幼児理解シート」と表記。）を作成した。なお、本シートは、幼児一人につき一枚作成するとともに、一日の中の、ひとまとまりの遊びについて記録するものである。（図2）

(2) 「幼児理解シート」の活用方法

- ・ 保育終了後、幼児の様子と教師自身の指導を振り返る際に活用する。
- ・ 保育観察時、幼児の様子と教師の指導を記録する際に活用する。
- ・ 記録を蓄積・共有することにより、遊びにおける、一人一人の幼児の実態や行動の傾向を捉え、次の指導に生かす。

「粘り強さ」を育む幼児理解シート			
日付：令和 年 月 日 時 分～ 時 分			
対象： 歳児名前： _____			
ねらい： _____			
◆遊びの場面： _____			
①試行錯誤の表出状況			
幼児の行動	気付く □□□	分かる □□□	挑戦する□□□
	試す □□□	工夫する□□□	実現する□□□
②教師が読み取る幼児の思い			予想される 幼児の思い
①を踏まえて読み取った幼児の思い うまくいかないこと、諦めること			
③明日の遊びの指導のポイント			
教師の指導	気付く	分かる	挑戦する
	試す	工夫する	実現する

図2 「粘り強さ」を育む幼児理解シート

4 検証保育

都内公立幼稚園、5歳児学級の自発的な活動としての遊びの時間に、検証保育を実施した。

(1) 検証保育の実践と指導の工夫（令和3年10月～11月）

連続した二日間において、「幼児理解シート」を活用し、幼児の思いに基づいた指導を行った。次に示すのは一例である。（表6）

表6 5歳児A児の遊びの場面と教師の指導の工夫

回	◆遊びの場面【ごっこ遊び】 (波線部分は、③明日の遊びの指導のポイントに基づき行った指導)	『「粘り強さ」を育む幼児理解シート		
		①試行錯誤の表出状況 ②教師が読み取った幼児の思い		③明日の遊びの指導のポイント
第一回	海のコーナーがある遊戯室に行く。乗り物に乗って友達に動かしてもらったり、自分でつくったくらげを動かしたりしている。一緒に遊んでいた友達と、「遠足の時に、海の大きな生き物がいたよね、何だっけ。」と相談し、形や大きさを思い出そうとしている。	①試行錯誤の表出状況		気付く ・海の大きな生き物について、具体的にイメージできるように、水族館のリーフレットを掲示する。
		幼児の行動		
		気付く	分かる	挑戦する
		✓		
		試す	工夫する	実現する
		✓		
		②教師が読み取った幼児の思い 「海の大きな生き物をつくりたい。」		
第二回	教師が掲示したリーフレットを見て、海の大きな生き物は「マンボウだった。」と言う。その後、大型の段ボールを選び、友達と一緒に線を描いたり、段ボールカッターで切ったりする。A児が自分で描いた尾の部分の線が細かく、何度も「これ、難しい。」と言いながらも、教師に動きを補助されながら励まされたり、友達と交替したりしながら形を切る。その後、友達と「マンボウができた。」と、泳いでいるように動かす。	①試行錯誤の表出状況		気付く、工夫する ・遊ぶ中で、マンボウの動きに気付けるように、「体はどうなっているのかな。」などの言葉を掛ける。 実現する ・思いを実現できた時に具体的に認める。
		幼児の行動		
		気付く	分かる	挑戦する
		✓		✓
		試す	工夫する	実現する
		✓	✓	✓
		②教師が読み取った幼児の思い 「マンボウでもっと遊びたい。」		

教師は、第一回のA児の試行錯誤の表出状況から、A児の翌日の遊びについての思いを読み取ることができた。第二回では、教師が、視覚的教材の提示という、A児の思いに応じた手だてを講じたことにより、A児は自分の思いの実現に向けて取り組むことができた。さらに、A

児の挑戦する、工夫する姿も引き出すことができ、試行錯誤の表出状況が多様になった。

(2) 継続的な検証保育の実践と幼児の変容（令和3年12月）

さらに連続した二日間において、「幼児理解シート」を継続して活用し、幼児が自分の思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むことができるよう指導を行った。（表7）

表7 5歳児A児の遊びの場面と教師の指導の工夫

◆遊びの場面【ごっこ遊び】 (波線部分は、③明日の遊びの指導のポイントに基づき行った指導)		『粘り強さ』を育む幼児理解シート																
回		①試行錯誤の表出状況 ②教師が読み取った幼児の思い		③明日の遊びの指導のポイント														
第三回	トンネルのある乗り物コーナーに行き、友達と「お客さんに見えるように、ここに貼ろう。」と言葉を掛け合って、前日に書いた文字や絵を貼り付ける。貼り終わると、トンネルの中に入り「あれ、光ってないよ。」と言って、蛍光絵の具で描いた魚に触れたり、友達が描いた魚の絵と見比べたりする。教師は「もっと中を暗くしようか。」と問い掛けながらトンネルを補強する。補強する教師に「中の魚が光ってないってことだよ。」と言い、魚を見ようと繰り返しトンネルに出入りしていると、他の遊びのコーナーが気になり「もう、いいんじゃない。」と言ってその場を離れる。	①試行錯誤の表出状況 <table><tr><td rowspan="3">幼児の行動</td><td>気付く</td><td>分かる</td><td>挑戦する</td></tr><tr><td>✓</td><td></td><td></td></tr><tr><td>試す</td><td>工夫する</td><td>実現する</td></tr><tr><td></td><td>✓</td><td></td><td></td></tr></table>		幼児の行動	気付く	分かる	挑戦する	✓			試す	工夫する	実現する		✓			③明日の遊びの指導のポイント 気付く ・ 幼児の言葉や動きに、うなずいたり、復唱したりして共感する。 試す ・ 幼児が自分で試す姿を見守る。
	幼児の行動	気付く	分かる		挑戦する													
✓																		
試す		工夫する	実現する															
	✓																	
第四回	トンネルのある乗り物コーナーに行き、友達を乗り物に乗せて繰り返し動かしたり、製作コーナーで魚の餌を作ったりする。遊びの途中、椅子に座って待つ友達に、「順番が違ふよ。」と怒った口調で言い、さらに自分の考えをぶつける。友達は、困った表情で「私、並んでいたよ。」と言い、その場を動かこうとしない。教師はやりとりの様子を近くで見守った後に、「順番が分かるといいね。」とつぶやく。すると数分後、A児は友達に「待っていてね。」と言うと、製作コーナーで数字を書いた紙を持ってきて、椅子に貼り付け「ここに並んでください。」と言う。友達は表示を見て並んで待つようになり、教師はA児に「分かりやすくなったね。」と言葉を掛ける。A児は「うん、紙を貼ったの。」と言い、さらに周囲の友達に「何回もできますよ。」と呼びかけ、繰り返し友達を乗り物に乗せている。	①試行錯誤の表出状況 <table><tr><td rowspan="3">幼児の行動</td><td>気付く</td><td>分かる</td><td>挑戦する</td></tr><tr><td>✓</td><td>✓</td><td></td></tr><tr><td>試す</td><td>工夫する</td><td>実現する</td></tr><tr><td></td><td>✓</td><td>✓</td><td>✓</td></tr></table>		幼児の行動	気付く	分かる	挑戦する	✓	✓		試す	工夫する	実現する		✓	✓	✓	③明日の遊びの指導のポイント 気付く ・ 遊びの中で気付いたことに、うなずいたり、復唱したりして共感する。 分かる ・ お客さんの感じたことを言葉にして伝えたり、一緒に考えたりする。
	幼児の行動	気付く	分かる		挑戦する													
✓		✓																
試す		工夫する	実現する															
	✓	✓	✓															

「幼児理解シート」を継続して活用したことで教師は、A児の遊びにおける行動の傾向を捉え、試行錯誤しながら取り組んでいる時には「見守る」「復唱する」など有効な指導を見だし、実践した。その指導によりA児は、友達と意見がぶつかることがあっても、遊び方を工夫し、諦めずにやり遂げる姿が見られた。

四回の検証保育を通して、幼児が自分の思いを実現する経験を積み重ねたことにより、粘り強く取り組むようになる姿を確認することができた。

第4 研究の成果

- ・ 自発的な活動としての遊びにおける幼児の様々な行動を、「試行錯誤する際に見られる行動」に照らして整理し、一人一人の幼児の思いを具体的に読み取ることができた。
- ・ 教師が具体的な幼児の思いを理解することで、次の指導のポイントを明確にして効果的な手だてを講じることができ、幼児は自分の思いを実現する経験を積み重ねることができた。
- ・ 教師が「幼児理解シート」を活用し、幼児理解に基づいた指導を継続的に実践したことで、幼児は自分の思いを実現する経験を積み重ね、粘り強く取り組むようになった。

第5 今後の課題

- ・ 学級の幼児全員が、自発的な活動としての遊びにおいて粘り強く取り組むようになるよう、「幼児理解シート」を活用し、一人一人の思いに応じた適切な指導を実践していく。
- ・ 自発的な活動としての遊びを通して育まれた幼児の資質・能力及び指導の工夫について東京都内の小学校等に周知し、小学校以降の学習につなげる。